国際交流センター通信31

東京家政学院大学
国際交流センター
Tokyo Kasei Gakuin University International Exchange Center

第14回外国語スピーチコンテスト
海外協定校2校とつないで初のオンライン開催

2020年12月12日(土)に外国語スピーチコンテストが開催されました。今回は、海外協定校である釜山女子大学校（韓国）とタンロン大学（ベトナム）とをオンラインでつないでの開催です。対面での開催を断念して、オンラインで開催したことがかえって功を奏し、総勢207名が参加しました（うち出場者が17名：釜山女子大学校6名、タンロン大学11名）。過去最高の参加者人数です！

出場者は、自分の母語以外でスピーチをしました。以下が各部門のテーマです。

◇英語暗唱部門
“Modern History Sourcebook:Sojourner Truth: "Ain't I a Woman?", December 1851”
“How dare you': Transcript of Greta Thunberg's UN climate speech”

◇日本語弁論部門
「私の夢」「私と日本との出会い」「日本で出会った大切な人」
「日本に紹介したい母国の文化」「日本で暮して考えたこと」

スピーチの内容からは、日本語を学ぶ外国の学生が日本に興味をもつきっかけの多くが日本のアニメであること、その後様々な日本人との出会いや日本での体験を通して「もっと日本のことを知りたい」という意欲へとつながっていったことが感じ取れました。たった一人の日本人との出会いが、彼女たちの人生の選択に大きく影響した、という事例もあり、出場者の熱意や日本への思いがオンラインを通してよく伝わりました。また、今回は評価や順位付けを行わず、表彰をしませんでしたが、「出場した学生にとっては、それ以上に得るものが多かった」と参加した協定校の教員からのコメントが寄せられています。

その後は、オンラインでクリスマスパーティーが開催されました。参加者はトナカイやサンタクロースの衣装を着て、パソコンの前で「乾杯！」。そして、クイズを楽しみました。オンラインによる国際交流の意義や楽しみ方を学べた外国語スピーチコンテストでした。

▲日本・韓国・ベトナムをつなぐ笑顔の集合写真

本学が目指す国際交流

1 他者を国籍、民族、性別、年齢などの枠で判断するのではなく、同じ人間として心を開き、相手の人権を尊重することができる。
2 自国文化も他国文化も数ある文化の中のひとつとして客観的に捉えることができる。
3 国際情勢に関わる情報の本質を理解することができる。
4 本学で展開してきた知識体系の蓄積を発信することで国際社会に貢献できる。
5 よりよい社会および世界を構築するために、自分ができることを見いだし、実行していくことができる。

前期イベント予定

■国際交流活動に関する募集
4月23日(金)申し込み期限
→詳細は4面にて

■マーク・ルイス先生と英語サロン
町田キャンパス4月28日(水)、千代田三番町キャンパス4月30日(金)スタート
→詳細は4面にて

■海外協定校 短期研修＆短期交換留学説明会
町田キャンパス4月22日(木)、千代田三番町キャンパス4月23日(金)ともに12:20から。
→詳細は4面にて

東京家政学院大学の海外協定校
本学学生が参加できる現地プログラム

■中国
吉林外国語大学(吉林省長春市)
・中国語＆中国文化短期研修

■韓国
釜山女子大学校(釜山広域市)
・韓国語＆韓国文化短期研修
・短期交換留学
韓南大学校(大田広域市)
・韓国語＆韓国文化短期研修
・短期交換留学

■アメリカ合衆国
カリフォルニア州立大学モントレーベイ校
・アメリカの言語＆文化短期研修
・短期交換留学

■タイ
コンケン大学(コンケン市)
・調査・研究

※タンロン大学(ベトナム・ハノイ市)も本学の海外協定校ですが、本学学生が現地で参加できるプログラムはありません。

お知らせ

新型コロナウイルス感染の影響により2021年度前期には、以下の活動を中止することとなりました。参加者の安全を最優先しての決定ですので、ご理解のほどをお願いいたします。

・海外協定校への短期研修および短期交換留学
・海外協定校からの短期留学および3年次編入生の受け入れ
・中国人留学生による中国語教室（地域の方対象）
・地域の方を対象とする中国語チューター

UNHCR WILL2LIVE Cinema Partners 難民映画上映会2020開催（国連UNHCR協会後援）

▲上映会ポスター

2020年11月、オンラインで『難民キャンプで暮らしてみたら』『ソニータ』2作品の上映会を開催しました。国連 UNHCR Cinema パートナーズとしての開催です。例年は千代田三番町・町田の両キャンパスで1回ずつの上映でしたが今年度はオンラインでの開催ということで1日3回・計6回の上映を行うことができ、本学学生、教職員、併設中学・高校の生徒、一般の方を合わせて388名の参加者がありました。

上映前には国際交流センター長から「難民について知るきっかけにしてほしい」とのメッセージがあり、『難民キャンプで暮らしてみたら』初回上映時には国連 UNHCR 協会の天沼耕平氏から難民とはどのような人々か等についてお話を頂きました。

それぞれの映画を通して難民キャンプでの生活や古い婚姻慣習に苦しんでいる女子について「難民について、よく知らないが良いイメージを持っていなかったので、この映画を見て考えが変わりました」「初めて理解した」と衝撃を受けた様子がうかがえました。また、そのような環境でも力強く生きようとする人々に感動したという感想や「自分にできることをしていきたい」という声も多く寄せられ、難民について考える良い機会となりました。

なお、例年の上映会では募金を行い UNHCR の難民支援活動に寄付をするのですが、オンライン上映のため代替手段として Yahoo! ネット募金を通じての UNHCR への募金のアナウンスを行いました。

国際交流センター員からメッセージ

齋藤　史夫（生活デザイン学科）

修学旅行などの教育活動について考える「特別活動論」の授業で、学外実習ができないのでバーチャル修学旅行動画を作成しました。すると学生は韓国ツアーやイタリア美食体験など、例年では行くことができない場所の楽しい動画を作成しました。オンラインも活用することで世界への目を広げることができますね。

森　朋子（生活デザイン学科）

国際交流は特別なものではありません。他者を尊重し理解し合うという点で日常のコミュニケーションの延長線上にあります。言葉や文化の違いは「壁」ではなく「発見の喜び」です。まずは国際交流センターの行事に気軽に参加することで、新しい扉を開いていきませんか。

山田　正子（食物学科）

2020年度は、私が担当している中相原町会祭りおよびホームビジット・ホームステイへの留学生の参加ができませんでした。どちらの行事も日本の文化に触れることができるよい機会ですので、今年度は実施できるとよいと思っています。また、センター員の一員として留学生の皆さんとお会いできることも楽しみにしています。

中田　範子　国際交流センター長（児童学科）

国際交流センターでは、各種パーティー、外国語スピーチコンテスト等、楽しいイベントを企画し、留学生を通して身近な国際交流の機会を提供しています。オンラインを活用することにより、学内での国際交流の幅が広がっています。本学学生・職員であればどなたでも参加できますので、是非ご参加ください。

太田　茜（現代家政学科）

2020年度から国際交流センター員になりました。国際交流センターの行事は私にとっても初めてのことばかりなのですが、皆さんと一緒に楽しんでいきたいと思います。実は学生の時も留学生のチューターをしていて、異文化交流が楽しかったのが思い出されます。

マーク・ルイス（現代家政学科）

The International Exchange Center has many chances for you to make new friends and learn about other cultures. For example, come to the English Salon and share your ideas about life in Japan with others in English. You can also hear what others, who may be from a different country, think about studying in Japan. Use English to interact with others. It's fun! Becoming involved with the International Exchange Center activities is a great way to learn about other cultures.

江川　賢一（人間栄養学科）

2020年度より国際交流センターに参加させていただいております。前年度は人間栄養学部開設3年目の栄養学海外研修の派遣中止から始まり、ほとんどの各種行事がままなりませんでした。本学および本学と関係する学生、地域の皆さん、センター員の皆様が楽しみにしているイベントができることを期待しております。

花田　朋美（大学院）

2020年度は、新型コロナウィルス感染症の拡大により、直接人と会う機会が少なくなってしまいました。しかし、これをきっかけにこれまで以上にオンラインでの交流が活発になったと思います。新しい生活様式を前向きに捉えて、もっと世界と繋がるチャンスにしましょう。

海外協定校 カリフォルニア州立大学モントレーベイ校の学生とオンラインで授業交流

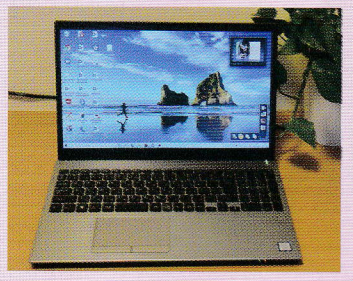
2020年度後期に生活デザイン学科専門科目「言語学概論」「言語コミュニケーション」「Practical EnglishB」の履修生が、カリフォルニア州立大学モントレーベイ校 Ling392（言語学 392）の履修生と1対1の交流をZOOMで3回実施しました。

交流のテーマは「言語」です。本学学生はそれぞれのミーティングで言語に関する以下の調査を行いました。

第1回：母語にない英語の音、英語にない自分の母語の音をお互いにどのように聴き、発音する？
第2回：家族、親戚、友達に直接呼びかける時は何と言う？
第3回：「旅行に行く人を見送る時」「自分のお父さんをほめられた時」「先生の研究室を出る時」などに何というのが一般的？

2020年度の本学履修生は、「日本語母語話者＋中国語母語話者＋韓国語母語話者」という構成だったので、英語をまじえた4つの言語と文化の違いを比べることができました。それぞれの言語の共通点と相違点を自分達で発見することで、言語の面白さを体感できたようです。

最初は英語での交流にかなりドキドキしていた学生達でしたが、「表情、ジェスチャー、単語、反応によってコミュニケーションがスムーズになった」「資料を事前に準備したので楽しく交流できた」「実際に現地を訪れてみたくなった」「直接交流できて貴重な体験だった」等のコメントが寄せられ、教室の中だけでは得られない「交流」という学びが深まったことが感じらました。



▲オンラインで世界中の人と交流できる！

横山第一小学校6年生とすみれ学級（特別支援学級）との交流

本学学生と八王子市立横山第一小学校6年生との交流を2020年1月29日（金）に実施しました。まずは、本学学生3名（韓国人留学生1名、台湾人留学生1名、日本人1名）が自己紹介とそれぞれの故郷にちなんだクイズを出しました。その後は、6年生からの本学学生への質問コーナーとなりましたが、「韓国では生まれた時に1歳、お正月で2歳という考え方に驚いた」「自分達が当たり前だと思っていることが実はそうでないことが分かってよかった」等の感想が届いています。

▲クイズの答えは？（6年生）

すみれ学級とは2月8日（月）にオンラインで交流しました。本学学生（日本人4名、台湾人1名）の簡単な自己紹介の後、子どもたちから本学学生に「今何を学習しているのか」「なぜその学習をしているのか」「大変なことは何か」等の質問がありました。その後、すみれ学級からは「子どもたちが大学生でも宿題が大変なことに驚いていた」「学生がとても上手に子ども達に対応してくれた」等の感想がありました。

▲お互いに手を振り合って終了（すみれ学級）

いずれの学級でも、本学学生達からは、この時期に、子どもたちと交流できて嬉しかった」「子どもたちの考えを知ることができて楽しかった」との声が寄せられ、横山第一小学校との初めてのオンライン交流も成功裏に終わることができました。

私の異文化・海外体験 第10回
2つの記憶

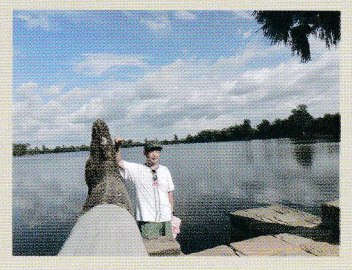
江川　賢一（人間栄養学科）

研究室の先輩（今でも親身になってご指導下さる）のお誘いで、アムステルダム、ストックホルム、ヘルシンキ（写真）、ユバスキュラ、ローマ、パリ、フランクフルト、ロンドンと渡り、第2外国語で学んだはずの独語も片言英語も全く歯が立たないことを学びました。観光地やホテルでは何とかなる食事（お酒も？）も、先輩と訪れるローカルな食堂では、オーダーしてから、口に運んでみるまでスリル満点。深夜に到着したローマではタクシーに乗ったら高額な運賃を盗られる。ロンドンの B&B の味気のないスープにはマスターの親指がたっぷり浸っている。炎天下で脱水気味になったシャンゼリゼ通りのファストフード店で、「エビアン」と連呼したら店の外に放り出される。どれも今となっては楽しい記憶です。

◀1995年国際バイオメカニクス学会前に立ち寄ったオリンピックスタジアム

その後、バンコクで開催される国際会議に出席する機会がありました。これは！と思い立ったのは、日の入りのアンコールワットの写真を見たことがあり、実際に行ってみたかったからです。社会人の渡航は滞在期間も限られるので、入念に下調べして現地に入りました。すると、ホテルにチャーターしたはずのシャトルがなく、結局タクシーで深夜にチェックインすることに。翌朝、謝罪に訪れたホテルの支配人に英語で（日本語もかなり混ざっていたはずですが）次から次へと不満をぶつけていました。夜景がみられない無念は伝わっていないようでした。遺構を一通り見学して、20年も経つと少しはスマートになっていると期待していましたが、ふと湖（写真、正確にバライと呼ばれる人工水域）のほとりに写った自分の姿を見て我に返ったのは少々恥ずかしい記憶です。

大体のトラブルを乗り越えてきたおかげで、知らず知らずのうちに異文化を楽しむ術が身についているようです。次はどこへ？



2016年国際身体活動健康学会後に立ち寄ったスラ・スラン（王の沐浴池）▶

いろいろ募集中（本学学生対象）

今できることから始めてみよう！

アメリカの大学生とメール交換

アメリカ合衆国フロリダ州にある FloridaInternational University で日本語を学ぶ学生と楽しくメール交換します。

【申し込み先】iec@kasei-gakuin.ac.jp
・件名を「アメリカの大学生とメール交換」にする。
・本文に①氏名（よみかた）、②学籍番号、③使用を希望する言語（日本語、英語、どちらでも良い）、④趣味や好きなこと等を書く。
【申し込み期限】4 月 23 日（金）

日本語会話パートナー

東京家政学院大学で学ぶ留学生と日本人学生とが出会い、楽しくおしゃべりする中で、お互いの文化を知るチャンスです。オンラインでの交流も可！

【申し込み先】iec@kasei-gakuin.ac.jp
・件名を「日本語会話パートナー」にする。
・本文に①氏名＆よみかた、②学籍番号、③時間割の空き時間をできるだけ多く書く（例：月 2 限、水昼休み）。
【申し込み期限】4 月 23 日（金）

マーク・ルイス先生と英語サロン

英語が苦手、英語で話せるようになりたい、どのレベルの人でも大丈夫。マーク・ルイス先生と英語で楽しく会話しましょう。予約なしで好きな日に参加できます。

◇町田キャンパス
曜日と時間：水曜日12:20～12:50
開催日：4月28日／5月12日・19日・26日／
6月2日・9日・16日・23日・30日
場所：附属図書館1階

◇千代田三番町キャンパス
曜日と時間：金曜日12:20～12:50
開催日：4月30日／5月7日・14日・21日・28日
6月4日・11日・18日・25日
場所：1114

海外協定校に留学する

本学海外協定校での短期研修＆短期交換留学に関する説明会を開催します。
新型コロナウイルス感染の影響で、2021年度前期の留学および短期研修はすでに中止が決まっていますが、興味のある方は今後のためにぜひ説明会にご参加下さい。

◇町田キャンパス
日時：4 月 22 日（木）12:20 ～

◇千代田三番町キャンパス
日時：4 月 23 日（金）12:20 ～

・いずれのキャンパスも場所は電子掲示板もしくは本学ホームページ「トピックス」にてご案内します。
・千代田三番町キャンパスはオンライン同時配信を予定しています。希望者は件名を「説明会」として iec@kasei-gakuin.ac.jp までお申し込み下さい。

言語チューター

中国語、日本語を学びたい学生と、教えたい学生が1対1で学び合う制度です。オンラインでの交流も可！

応募資格
◇中国語
＜習う人＞ 本学学生であればどなたでも
＜教える人＞中国語母語話者の本学学生

◇日本語
＜習う人＞ 本学学部1～4年生の留学生
＜教える人＞日本語母語話者の本学学生

【申し込み先】iec@kasei-gakuin.ac.jp
・件名を「言語チューター」にする。
・本文に①氏名（よみかた）、②学籍番号、③習う人か教える人か、④時間割の空き時間をできるだけ多く書く。

【申し込み期限】4月23日（金）

科目チューター

学部 1・2 年生の留学生が、特定の科目で「ノートが取れない」「専門用語が分からない」などの困難が生じた時に、同じ科目を履修している学生と一緒に勉強ができる制度です。
申し込み期限はありません。必要だと感じた時に学務グループ窓口にご相談下さい。

発行・編集
東京家政学院大学　国際交流センター
〒194-0292 東京都町田市相原町2600 TEL 042-782-6908

国際交流センター通信 第31号　2021年4月1日
大学HP　https://www.kasei-gakuin.ac.jp/